

【研究概要】

日本語版小児摂食障害傾向(ChEDE-Q8)の質問紙調査を多施設共同前向きコホート研究として実施する。一般群と臨床群のデータを比較し、本尺度の信頼性と妥当性を検証すると共に臨床診断に有用なカットオフ値の開発を目指す。一般群には既存の「新型コロナウイルス感染症流行による親子の生活と健康への影響に関する実態調査」のデータを、臨床群には多施設から収集された患者データを使用する。